大戦景気と社会運動

次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

日露戦争後、おおむね不況つづきであった日本経済にとって、第一次世界大戦の勃発は、まさしく「天佑」であった。開戦直後は先行の不安から経済界は混乱したが、1915(大正 4)年後半になると急速に好景気が到来した。戦争によってアジア市場から後退したヨーロッパ諸列強にかわって、日本の商品がこの地域に大量に流れこんだ。中国に対する[A]・綿布の輸出が急増し、アメリカの好況によって[B]の輸出もさかんになった。また交戦国の戦時需要も増大した。こうした輸出の急増と海上運賃の高騰などによる貿易外収支の増大によって、国際収支は黒字となり、日本は債務国からいっきょに債権国に転じた。経済界は未曽有の好況をむかえ、紡績業・織物業・製糸業の軽工業をはじめ、造船・①鉄鋼・機械・②化学・金属などの重化学工業の発展もめざましく、大戦景気を通じて日本の産業構造の変化がすすんだ。中でも造船・海運は世界的な船舶需要の急増による日本船舶の大量輸出や運賃、チャーター料の急騰によってブームがおこり、③短期間に巨額の利益をあげるものが続出した。こうして日本は世界[C]の海運国となった。

大戦景気で工場労働者数が増加し、勤労者の賃金はかなり上がったが、大戦中に物価が約 2 倍に上昇したので、勤労者の生活は楽ではなかった。とくに大戦の長期化や[D]をあてこんだ米商人の買いしめや売り惜しみのために米価は暴騰した。大戦景気は巨富をつむ者を生んだ反面、勤労者の収入増加を物価高で帳消しにしたり、米価暴騰により最低生活に苦しむ下層民の存在を表面化させた。こうした中で経済学者[E]が、「驚くべきは現時の文明国に於ける多数人の貧乏である」という一文ではじまる[F]を著わし、富める者の倫理的自覚を促したことは、象徴的なできごとであった。

1918(大正 7)年、漁村の主婦たちの米の安売り要求の行動が「[G]女一揆」として新聞で全国に報道されると運動は各地に波及し、1 道 3 府 38 県に及ぶ④米騒動に発展した。これは米価暴騰による生活苦からおこった民衆暴動であり、1905 年、[H]条約調印の日におこった[I]などとは性格の異なるものである。しかし規模の大きさや全国的なひろがりをもっていただけに、その社会的影響は大きく、この前年におこった[J]の影響とあいまって、その後大衆運動の展開の一つのきっかけをあたえるものとなった。

〔設問〕

(1) 空欄 A～J に該当する語句を下記の語群から選び、その記号を記しなさい。

イ.河上肇　ロ、越中　ハ.ポーツマス　ニ.貧乏物語　ホ.第三位　ヘ.茶　ト.生糸
チ.山東出兵　リ.森戸辰男　ヌ.日比谷焼打ち事件　ル.ロシア革命　ヲ.万歳事件
ワ.第一位　カ.綿糸　ヨ.絹織物　タ.日本之下層社会　レ.ヴェルサイユ
ソ.対華二十一箇条の要求　ツ.シベリア出兵　ネ.経済録　ナ.越後　ラ.パリ不戦　ム.第二位
ウ.越前　ヰ.吉野作造　ノ.青島攻撃

(2) 下線部①の鉄鋼業について、1918 年に南満州鉄道株式会社が設立した製鉄所の名を記しなさい。

(3) 下線部②の化学工業はヨーロッパのある国からの薬品・化学染料・肥料などの輸入がとだえたために発展した。その国はどこですか。

(4) 下線部③を何といいますか。

(5) 下線部④で総辞職した内閣名を記しなさい。

(6) (5)の内閣のあとに本格的な政党内閣が成立した。その首相の姓名を記しなさい。

解答

(1) A ―カ B ―ト C ―ホ D ―ツ E ―イ F ―ニ G ―ロ H ―ハ I―ヌ J ―ル

(2) 鞍山製鉄所　(3)ドイツ　(4)船成金　(5)寺内正毅内閣　(6)原敬